



各位

会社名 株式会社ノダ
 代表者名 代表取締役社長 野田 励
 (コード番号7879 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役総務部長 良知 正啓
 (TEL 03-5687-6222)

繰延税金資産の一部取り崩し、第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年11月期第2四半期連結会計期間において、下記のとおり繰延税金資産の一部取り崩しを行うことといたしました。また、前回（2024年1月15日）発表した2024年11月期第2四半期（累計）の連結業績予想数値と本日公表の実績値との間に、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

現在の事業環境及び当期の業績見通しなどを踏まえ、今後の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当第2四半期において当社（単体）の繰延税金資産を一部取り崩しました。それに伴い、当第2四半期（累計）の連結決算において、17億18百万円を法人税等調整額に計上いたしました。

なお、本会計処理は実質的な支出を伴わず、キャッシュ・フローに影響を及ぼすものではありません。

2. 2024年11月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異（2023年12月1日～2024年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,800	1,500	1,600	1,000	62.28
実績値 (B)	32,962	660	692	△1,645	△103.12
増減額 (B) - (A)	△2,838	△840	△908	△2,645	
増減率 (%)	△7.9	△56.0	△56.8	—	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2023年11月期第2四半期)	35,314	2,578	2,691	1,565	97.50

〔差異が生じた理由〕

建築費高騰や物価上昇、職人不足などを背景に依然として新設住宅着工戸数が低水準で推移するなか、建材・MDF製品全般の販売量減少や、販売競争の一層の激化による販売価格改定の遅れなど、厳しい事業環境が続きました。また、合板についても需要の低迷に伴い引き続き販売価格が低下し、販売量も低水準で推移したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は上記のとおり前回発表予想を下回る結果となりました。

また、損益面についても、原材料・副資材コストが引き続き高水準で推移し、物流コストは上昇するなか、売上高が予想を下回ったことに加え、生産調整の継続や、繰延税金資産の一部取り崩しなどにより、上記のとおり前回発表予想を下回る結果となりました。

第3四半期以降の取り組みとして、「カナエル」や「HBW」の拡販に引き続き注力するとともに、比較的堅調な貸家市場やリフォーム・リノベーション市場向けにも高付加価値製品の提案を一層強化、物流コスト上昇等を受け一部建材製品の販売価格改定、合板市況の動向を見極めた適切な価格設定と販売量の確保などにより売上高の回復を目指します。また、引き続き原材料の見直しや生産・配送効率の向上、経費削減を徹底し、業績の改善に努めてまいります。

なお、通期業績予想については、住宅需要に回復の兆しが見えないなか、下落基調が続く国内合板相場の見通しが立たず、また、不安定な為替相場など先行きは依然として不透明であるため、現時点では修正せず、前回公表した予想を据え置いております。今後、これらの動向を見定めたうえで速やかに公表いたします。

以上

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。